

会議の名称	第5回タウンミーティング
開催日時	平成27年5月16日（土）午後1時～午後1時57分
開催場所	西保地区防災コミュニティセンター 講堂
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長、秘書課長 参加者 45名
テーマ	市の防災について
質疑応答	
市民A	2つほどお願いします。昭和34年の伊勢湾台風を経験しているんですけども、一番活動したのは舟です。逃げるにしても、救援物資を運ぶにしても。今、愛西市には、舟やボートなど何艘ありますか。とても、自転車、車、徒歩では避難所へは行けません。
市長	申し訳ございません。現在、舟の数字は持ち合わせておりませんので、アンケートにご記入ください。もしよろしければ、後日お示しをさせていただきます。
市民A	避難の方法についてですが、浸水で各自2階があれば2階に避難できますよね。もしくは指定の避難所へ行く場合もありますよね。救援物資というのは避難場所にしか届かないのか、自宅の2階に避難した場合、救援物資は届くのかどうかどうでしょうか。
市長	災害が起こった場合の救援物資というのは、災害の状況によって違ってくると思います。現状は避難所などに備蓄品などを備えさせていだけ皆様方の手にすぐ渡るような形をとるということでございます。災害が起こった場合の救援物資は、風水害なのか地震なのかその災害によって変わってくると思っておりますので、お願いをしたいと思います。
総務部長	先ほどの舟艇の関係でございますが、愛西市全体で今34艇ございます。佐屋地区で21艇、立田地区で4艇、八開地区で4艇、佐織地区で5艇、合わせて34艇でございます。置いてある場所は、消防団の分団車庫ですとか、小学校にもありますし、永和地区のコミュニティセンターにもございます。
市民A	主に浸水は佐屋地区です。ほとんど水浸しになるのは。佐屋地区にはいくつありますか。
総務部長	21あります。
市長	浸水については、先ほどもお話をしましたが、河川の堤防破堤による浸水も心配されますので、どこで浸水が始まるかということもあります。市内で破堤しなくても上流で破堤しますと下流部は浸水

	<p>しますので、災害がどのように発生するかによって変わってくると      思います。愛西市だけがいいという状況はなかなか考えづらいので      はないかと思えます。この地域全体が災害の被害を受ける可能性が      非常に高いと思えます。各自治体が協力しながら、災害発生後対応      させていただきたいと考えております。ご理解いただきたいと思      います。</p>
市民B	<p>限られた予算の中で、市長さんが頑張ってみえるということがよ      くわかりました。それをふまえて、2点ほどお願いします。行政無      線についてですが、今流れておりますチャイムですが、あれは音量      は半分くらいで流れておると聞いておりますが、まず、1点、マッ      クスのボリュームで流していただいて、各市民が自分の家で聞こえ      るのか聞こえないのか、朝とか、晩とか、深夜とかいろいろあると      思うのですが、いずれにしても自分の家で聞こえるか聞こえないか      ということを実験させていただきたいと思えます。私の想像ですが、      それで漏れる方がいらっしゃると思えますので、それをふまえての      次の質問なのですが、先ほどの話にありましたななみですね。なな      みは愛西市だけでなく、7市町村でカバーされていますよね。今の      愛西市の無線とななみとかですね、統合といいますか、深夜であつ      ても同時に作動するような協定を7市町村連携してしていただい      て、たとえ深夜であっても我々はFM放送を聞けば情報が得られる      と。電話やメールは殺到したら、とても受け答えられないと思いま      すので、一番放送で流れるのがいいのではないかと思えます。それ      でも漏れる家庭はあるかと思えますが、先ほど市長さんがおっしゃ      いましたが、自主防災会の務めだと思えます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。無線の関係でございますが、行政として      はマックスで実験をしたいという気持ちはありますけれども、いろ      いろな方がいらっしゃいまして、生活形態の違いなどもあり、今の      音量でも苦情があります。なかなか、マックスで実験をするとい      うことは難しいのではないかと思えます。皆様方のご理解がなければ      流せないものですから、実施したいのはやまやまですが、実現は難      しいと思っております。しかしながら、災害時が発生して必要があ      れば最大音量で放送させていただきます。たいへんありがたいご意      見であります。佐屋地区であれば佐屋地区全員の方の同意が得ら      れればそういうこともできると思えます。</p> <p>ななみとの情報共有につきましては、先ほども申しましたが、災      害放送協定を結んでおります。ただいま、ご意見をいただきました</p>

	<p>ので、改めてななみと内容を確認させていただいて、できる限り市民の方々の1つのツールとして必ず役に立つ情報を流していただくように協議をしていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
市民C	<p>避難所についてお聞きしたいのですが、西保地区の避難所は私が知っているのは、市江児童館と市江地区のコミュニティセンターですが、このコミュニティセンターは避難所になっていますか。</p>
総務部長	<p>来月号の広報の4ページを使いまして防災関係の資料を載せさせていただきます。その中に避難所の一覧が載っています。その中にはこの西保のコミュニティセンターも入っております。</p>
市民C	<p>新しいものには西保のコミュニティセンターも入っているということですね。もう1つお聞きしたいのですが、災害が起きた時に中学校とかが一番最初に避難所として開設されると言われたんですけど、それはどの時点で開設されるのでしょうか。自主避難の時はどうなのかお聞きしたいのですが。</p>
市長	<p>まず、最初に避難所が開設されるのは、いつも台風等が来て警報が出た段階で、一時避難所として中学校を開設させていただいて、自主避難してこられた方を受け入れるという形が第一段です。</p>
市民C	<p>そこには、市江やこの西保のコミュニティセンターは入っていないのですか。</p>
市長	<p>そうですね。市内の中学校の体育館を一次避難所としておりますので、こちらは入っておりません。各地区のコミュニティなどは開設しておりません。</p>
市民C	<p>私いろいろ聞いたのですが、一人で暮らしていて、避難をしたいのですが、自主避難の場合は、布団とかすべてのものを持っていかないかと。すべてのものを一人では持っていけないから早く避難したいという方がみえるのですが、そういう人のために近くで避難する場所を作ったり、自主避難に対して防災の方で物資を出せばいいと思うのですが、避難したい人には何か援助はありますか。</p>
市長	<p>現状では、そういった細かな避難所の設営はなかなか行政のみでは対応しきれないというのが現状でございます。現在でも台風が年間にたくさん襲来しまして、警報もかなりの数の警報が発令されております。おっしゃられましたとおり、自主防災会でそういった避難所開設を自らされるというお話であれば、ご意見として協議はできると思えますけれども、やはり避難所を行政が対応するということになるに限界がございます。最初の警報発令時から54か所す</p>

	<p>すべての避難所を開設するということになりますと対応しきれないと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。こういった部分でも地域の方や自主防災の方のご協力がなければ、なかなか第一次の避難から対応するのは難しいのではないかなと思っております。</p>
市民C	<p>もうひとつですね、最近新聞をみていたら、愛知県の防災局から避難所についてのいろんなものが出たと思うのですが、それについても、タウンミーティングか何か開いたりしてお願いしたいのですが。</p>
市長	<p>先日も、おっしゃられたとおり、行動につきまして県から示されて、ああいったことも毎年毎年時期を追って変わってまいりますので、市としてどこまでどのように反映するのこともありますので、防災担当も県と情報共有しながら、より市民の皆様の安全、安心につながるものについてはできるだけ対応できる部分については対応していかなければならないと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひますし、こちらにも書いてありますが、防災全般にわたっては安全対策課が担当しておりますので、55-7130にかけていただきますと安全対策課へ直接電話がつながります。ご提案等がありましたら、ご連絡ください。お電話をいただく際には、町内名、お名前などお知らせいただくとありがたいです。以上です。</p>
市民A	<p>まだ、時間があるのでいいでしょうか。救援物資を運ぶ場合、陸路ならトラック、空からならヘリコプターだと思いますが、この辺のその物資を集積する場所は決めてあります？浸水すると佐屋地区では何ともならんですよね。高台というと津島高校くらい。伊勢湾台風の際は、今の津島自動車学校のあたりは昔の旧堤防であの辺で自衛隊か何か来ていたんです。風呂も入った覚えがある。今、道路にしてみましたよね。</p>
市民D	<p>この辺も自衛隊が来ていましたよ。この西保の地元でも堤防あたりでやっていましたよ。</p>
市民A	<p>あの当時はね。でも、今はかなり沈下している。</p>
市民D	<p>沈下しているけど、その状況によって一概に言えないでしょ。被害の状況が。ある程度は自分たちでお互いに助け合ってやらんことには、何もかも市やなんかにやってもらっとったらいへんだもんで。</p>
市民A	<p>私が言っているのは、大量に救援物資が運ばれると思います。県</p>

	や国から。
市民D	それはある程度は運ばれると思うよ。
市長	一応、県で日光川防災ステーションを整備してもらいましたので、そこが拠点になると思いますし、愛西市の中では東海大橋のところにヘリポートが1か所設置してありますので、そういったところが拠点になるではないかと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。